

さとひがし

大津市立仰木の里東小学校 学校だより 7月号



☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子

令和4年7月6日



学習参観ありがとうございました

先日、今年度2回目の学習参観を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2グループに分け2時間目と3時間目に行ったのは5月と同様ですが、滋賀県において「感染レベル1」となったことを受け、教室にも入っていただくこととしました。保護者の皆様には、廊下や教室に分かれて参観していただき、どの教室でも混み合っている(密になっている)様子はありませんでした。ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

各教室では、感染防止対策をとりながらも、グループやペアになって意見交流をしたり、iPad等を活用したりするなど、工夫して学習を進めていました。子どもたちは、保護者の皆様がんばっている様子を見てもらうことができ、とても満足そうでした。2学期以降も感染状況を見ながら、学習参観の機会をつくっていきたいと考えています。

スクールボランティア活動

学校だよりの6月号では、学校運営協議会において、「ボランティア活動の推進・充実に力を入れていきたい」とお伝えし、スクール農園ボランティアさんの活動をほんの少しですが紹介させていただきました。

その他にも、登下校時の交通安全見守りやあいさつ運動、読み聞かせボランティア・学習支援ボランティア・保健室ボランティア・図書室ボランティア・水泳見守りボランティア・ミシン支援ボランティア等、本当にたくさんの地域・保護者の皆さんにボランティアとして学校の諸活動の支援をしていただいています。

教職員だけでは、日頃手の届かないところまでサポートしていただき、ありがとうございます。子どもたちも、ボランティアの皆さんに助けられていることを実感しているようで、感謝の言葉をよく口にするようになってきました。このようなつながりは、何より子どもたちにとって大変重要なことだと考えています。自分の保護者や学校の教職員以外の大人の人との良好な関係性を築いていくことで、子どもたちは地域とのつながりを感じ、地域社会への「貢献」を意識できるようになります。

子どもたちには、自分の住んでいる地域に「愛着を持ち」「誇りを感じる」ようになってほしいと願っています。急速に社会情勢が変化を続けていくために、これまでに経験したことのない課題を解決し、未来を拓き、よりよい社会を築いていくことが、子どもたちには求められます。人生100年をより豊かに生きていくために、多様な人と交わりながら、多くのことを学んでほしいと思います。

お知らせとお願い

先週から、猛烈な暑さとなり、熱中症が大変心配される状況となっています。昼休みや体育の時間等に外に出て運動する際は、こまめに水分補給をするとともに、帽子を着用し、マスクを外すように指導しています。また、登下校についても、おしゃべりを控え、マスクを外すように指導しています。夏休みまであと少しです。子どもたちが健康に過ごせるよう、お家でも「熱中症の予防について」の話をしてみてください。

7月3日に予定されていた「除草作業」が、雨のため中止となりました。準備を進めてくださっていた、地域の皆様・保護者の皆様には、誠に申し訳ございませんでした。今後の計画につきましては、改めてお知らせいたします。

